

# 中部横断自動車道 整備効果例

## <物流の効率化>

- ・国道52号は、特殊車両※1が走行する際に、徐行に加え前後誘導車の配置が必要な通行支障箇所が存在するなど、走行性や速達性に課題があり、ドライバーへの負担が増大。
- ・中部横断自動車道の整備により、走行性の向上と所要時間の短縮が図られ、港湾までの輸送時間が最大約80分短縮。
- ・物流効率化を促し、山梨の主要農産品(モモ・ブドウ等)の輸出、静岡県産の鮮魚(マグロ等)の安定的な供給を支援。

※1車両の構造や輸送する貨物が特殊な車両。海上コンテナ用セミトレーラなどが含まれる。

### 山梨県から輸出港までのルート

#### 現在



中部横断の整備により、輸送時間は最大 **約80分短縮**

#### 今後

山梨県で生産される  
モモ・ブドウ



山梨県で販売される  
静岡県産のマグロ



中部横断自動車道の整備により

清水港までの輸送時間は**約100分**※2



※1：県道以上を対象に算出（高速道路：80km/h、中部横断：70km/h、一般道路：40km/h）

※2：港への輸送時間と港における待機時間の合計

各港のコンテナ車両待機時間調査結果（東京都トラック協会海上コンテナ専門部会、神奈川県トラック協会海上コンテナ専門部会、清水港利用促進協会）

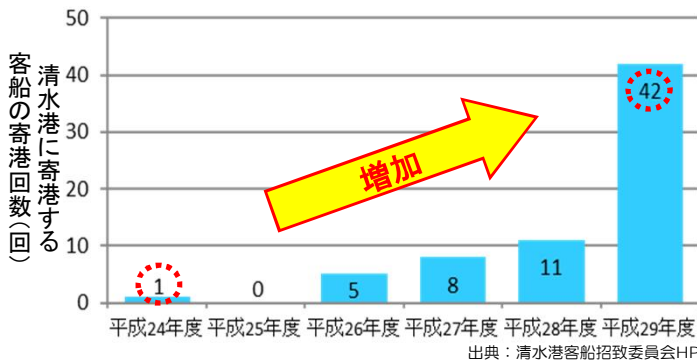
# 中部横断自動車道 整備効果例

## <インバウンド観光の促進>

- 清水港は平成29年に国際旅客船拠点形成港湾に指定され、寄港する国際クルーズ船が増加。
- 中部横断自動車道沿線にはアジア圏の訪日旅行者に人気のある観光資源が集中。
- 中部横断自動車道の整備により、新たな観光ルートが形成されることで、清水港のインバウンド観光の更なる増加、山梨県への国際クルーズ船の訪日外国人観光客の獲得に期待。

### インバウンド観光のニーズ

■ 清水港の国際クルーズ船の寄港回数



■ アジアからの訪日旅行者が行ってみたい観光地

順位	観光地
1位	桜
2位	富士山
3位	温泉
4位	日本的な街並み
5位	日本庭園

上位3箇所  
(桜・富士山・温泉)が  
中部横断自動車道  
沿線に集中。

出典：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（平成29年版）」  
公益財団法人 日本交通公社

### 中部横断自動車道を利用した新たな観光ルートイメージ

